

# みんなdeスポーツ！ わが町の取り組み

30

奈良県



ラバーの付いていないラケットでボールを転がすように打つサウンドテーブルテニス

視覚に障害があり行動に制限があっても、いろいろな活動をしたいと思っっている人は少なくありません。奈良県立盲学校では、スポーツにも力を入れ、フロアバレーボール、グラウンドソフトボール、サウンドテーブルテニス、水泳などはクラブとして大会にも参加しています。

最近アダプテッドスポーツが注目されていますが、これらもそれとよく似ており、誰もが簡単に取ります。一人でも多くの人に知ってもらいたい、スポーツを通して視覚障害の方々との交流をしてみたいとの思いから、本校では8月に県内全域の方々を対象とした盲学校体験会を計画しています。スポーツを通して県民の方々に体力の維持向上を図ってもらうとともに、視覚障害者に対する理

## スポーツ交流通じ視覚・聴覚障害への理解促進

解を深めてもらうなどお互いにWIN-WINの関係を築けたらと思います、実行委員会を発足させ頑張っています。

また、県立ろう学校では、奈良県方法務局・奈良県人権擁護委員連合会・県・地元のプロサッカーチーム「奈良クラブ」との協働による「障害のある人もない人も、スポーツを通じて交流し理解を深め合うこと」を目的とした「人権啓発スポーツ教室」が、2月5日に開催されました。

当日は、聴覚障害のある幼児や小学生20人と健聴の小学生19人の計39人が参加しました。あいにくの悪天候でしたが、体育館で、奈良クラブの選手の指導の下、パスやドリブルの練習、ミニゲームなどを楽しみました。指導する選手や子どもたち同士も簡単な手話や身ぶりを交えてコミュニケーションを行い、楽しく熱いひとときを過ごすことができました。

奈良クラブとしても、今後もこのような障害のある人となない人が共に理解を深め合うようなサッカー教室を継続的に開いていきたいとのことでした。

(永安直子・奈良県立ろう学校、  
県立盲学校校長)